



令和6年度 車座集会 意見交換内容

日時	令和6年8月19日(月)14時から
場所	鹿町地区コミュニティセンター 集会室
テーマ	・学校再編について ・地域振興について
出席者	地域参加者12名、市議会議員2名、市長ほか関係者5名 合計19名

佐世保市 市民生活部
コミュニティ・協働推進課

令和6年度鹿町地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:学校再編について

地域参加者

- 鹿町中学校、鹿町小学校、歌ヶ浦小学校の3校の統合について令和11年度に開校スケジュールが示されている。統合場所である現鹿町中学校への通学環境が悪い状況であるため、小学校低学年や部活動の児童生徒の安全性、利便性に配慮したスクールバスの運行をぜひお願いしたい。
また、現在の小学校4年生から年下の児童が対象となるので、対象児童の保護者向けの丁寧な説明と意見交換を行っていただきたい。
- 学校再編について子どもたちにもいろんな意見を聞いてきた。ひとつが、暑さでプール利用の際の基準をこえてしまうため、夏休みのプール開放だけでなく授業でもプールの使用ができないことが多くあるということ。プールの授業も子どもたちに必要だと思うので、学校をこれからつくっていくにあたって、そのところをお願いしたい。
- 鹿町中学校、鹿町小学校、歌ヶ浦小学校にもエアコンの配備はされているが、特別教室の方まではなかなかされていないということで、子ども達が暑いと言っている。佐世保市全域のことなのでなかなかすぐにといいわけにはいかないと思うが、その辺を少し考えていただけないかと思う。
- 学童はどうなるのかという意見が結構出ている。今後鹿町中学校の場所になって、学童が遠くなったらそこに連れていくのもできない。学童を新しい学校のすぐ近くに設置していただけるのかも気になる。
- 鹿町に住所がある方、特に小学校1年生は、よほどの事情がない限りは鹿町の学校に行くようにしてもらいたい。



令和6年度鹿町地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:学校再編について

地域参加者

- 教育の問題として、タブレット操作の授業なども大事だと思うが、心を育てる教育に時間を費やした方がいいのではないかなと思う。



2024.8.19 鹿町地区



令和6年度鹿町地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:学校再編について

教育総務部長

- 校舎の増築については令和7年度から基本設計、翌8年度には実施設計、本体工事を令和9年、10年にかけて行おうと考えている。11年度には新しい校舎の方に移ってもらって、外構工事、周りの整備をしていこうと考えている。
- ハード整備に並行して展開していくソフト事業については11年の4月に1つの学校になる前の2年間、令和9、10年度にかけて開校の新しい学校の準備をしようとしている。令和7年度にまず学校の新しい学校の名前を皆さんと一緒に考え、令和9年、10年度にかけてその名前に基づいて校歌や校章、環境を整えるための3校の児童たちの交流事業をやらなくてはいけないと考えている。
- それぞれのスケジュールに基づき、具体的には令和7年度からこの統合の準備を始めたいと思っている。それに先立ち、今のスケジュールも含めて理解を得るためにこの地域の皆様との話し合いを令和6年度中には始めたいと思っているので、そういった機会を作っていただければと考えている。
- 丁寧な説明ということについては、今から時間をお借りしてやっていきたいなと考えているところである。
- 開放の条件もあるし、最近では民間のプールに連れて行くというようなところもあるので、そういったところも考えていく必要があるかと考えている。
- 普通教室についてはエアコンを一定整えることができる。佐世保市全体の動きとして、特別教室では優先的に理科室と音楽室に順次付けており、令和7年度中には佐世保市全体整備を終わるようなことで考えている。先ほどおっしゃっていただいたように佐世保市全部なので、ご理解をお願いしたい。
- 現状の調査、アンケートによりその現状を押さえつつ、令和9年度ぐらいから市子ども未来部等関係機関と調整をしながらどうあるべきかを詰めていく必要があると思っている。

令和6年度鹿町地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:学校再編について

教育総務部長

- スクールバスも学童も、全体で整えなくてはいけないという問題提起をいただくと私たちも問題が整理しやすい。規模感の問題からも、令和9年度を目途に、時期が来た時にそういった協議も始めさせていただきたいと考えている。
- 例外もあるが、基本的には通学区域というのは指定してあるので、そこで決まり。基本的には会長のおっしゃるとおりだと思う。
- 教育長も日頃、心の教育に重きを置いて取り組まれている。今の言葉についても教育長の方にしっかり伝えていきたい。



2024.8.19 鹿町地区

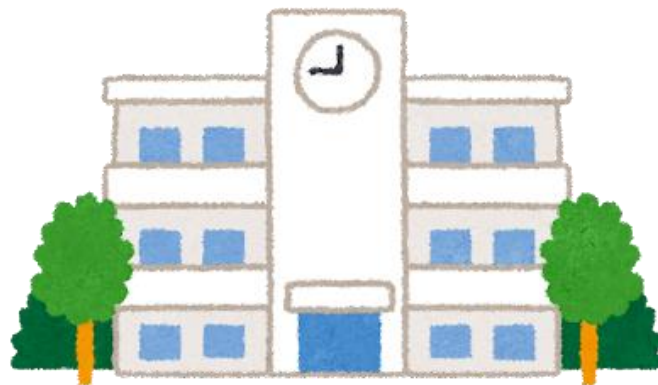
令和6年度鹿町地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:学校再編について

市長

- 学校再編については今後開校に至るまでには地元の皆様方のご意見を十分にお聞きしながら丁寧に進めていくように、私からも要望をしておきたいと思っている。
- 時代の変遷につれて教育の中身自体大きく変わってきているということを感じており、これも1つの時代の流れかなというふうに思う。
昨今、実社会を生きていくため、また社会に出て社会人としていろいろな能力を発揮するために、それに伴った教育というものが今充実されてきているような感じがする。
タブレットの使い方や、実社会或いは職場などに出て社会経験をさせる探求教育など、自分が実社会に出てみてその中でいろいろな勉強をしていくということを教育の一環として学んでいくというようなやり方も増えている。そういう意味では、これから社会人になる中で、いかにして生きる術を学んでいくのかということが市教育の中で中心になろうかと思う。

一方、教育の中では普遍的なものがあると思うっており、心の教育もその1つだろうと思っている。心の教育をしっかりと子どもたちに教えながら、社会の中で生きる術だけでなく、どう生きていくのか、またどのような人間になっていくのかも教えらるような教育の充実これからも努めていきたいと考える。



令和6年度鹿町地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:地域振興について

地域参加者

- 合併後14年経ったが、非常に人口が減った。佐世保市全体ではそんなに減っていないと市からはよく聞かすが、鹿町町の人口は10年間で1000人も減っているということを頭に置いてほしいと思う。
- いろんな方がいろんな所で頑張っていると思うが、小佐々・鹿町・江迎の3町を通っている県道18号のサンセットロードには看板が立っているだけで何も無い。認知度があつたパールマラソンもなくなった。市内の方に鹿町に何があるかときいたら、長串山は知っているという方がよくいる。今長串山の指定管理をしていて一生懸命頑張っているが、コロナの中、3、4年間で衰退している。売上も半分以下になっていて、なんとかならないかと思う。人口の減少もともかく、この小佐々・鹿町・江迎の観光面についてもどういう考えをされているのかお聞きしたいと思う。
- 市は他の町も含めて考えるかもしれないが、私たちは正直鹿町だけでいい。長串山に対しても「支援をする」とか、それでいい。鹿町は北九十九島の眺めもいいし、長串山も海水浴場もあり、住んでいる人間も結構底力がある。あとは市から部長等に来てもらって商工振興会会長等と話し、地元のニーズを受け取ってやってもらいたい。
- 海洋スポーツ基地が教育委員会の施設ということで全体的に制約が多い面があり、普通に楽しみに来られている方々に制限をかけてしまっている部分がある。今年度から文化スポーツ部に区分けされて担当の所管が変わったので、その辺をもっと柔軟にして観光客など外から来られる皆さんたちにも利用しやすいようなものにしていただきたいと思う。



令和6年度鹿町地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:地域振興について

経済部長

- コロナにより観光業が非常に厳しかったが、昨年の5月にコロナが2類から5類に移行してから人の流れが戻ってきている状況の中で長串山の数値を見てみると、令和5年度で大体1万5000人の方がお見えになっていて、特に4月のつつじのシーズンに1万2400人が見えている。
- 鹿町の近くには地域それぞれの観光施設がある。まずは点ではなく面でとらえて観光施設を充実させていこうと思っている。まずは知っていただき、来て良い思い出を作っていただくという取り組みを進めていくにあたっては、各観光施設、地元の方々との意見交換を十分にしながらその魅力を高めていく取り組みを行っていきたい。よそからの視点も踏まえて、新たな鹿町町の良さを発掘していきたいと思っているし、意見交換を十分させていただきながら観光地・地域づくりを進めていきたいと思っている。
- 長串山については4月特化というところで、通年ベースで小佐々地域を含めてこの鹿町にお越しいただく機会の創出に繋げていかないといけないと思っている。
今年度からこの北九十九島のエリアマネジメント事業を行っており、江迎・鹿町・小佐々の点となっている部分をできるだけつなげていこうという調査を現在進めている。北九十九島エリアマネジメント事業については今年度開始したばかりなので、また鹿町の方々含めて、調査、意見交換をさせていただきたいと思っている。
- 観光振興で広い意味で捉えていくと、やっぱり広域的なところでやっていって集客していただかないといけないという思いがあるが、今お話を聞いてまずは鹿町優先というふうなことなので、まずは鹿町ということでお話をさせていただきたいと思う。

令和6年度鹿町地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:地域振興について

経済部長

- (海洋スポーツ基地に関する)今のご意見に私も基本的に賛同したい。観光振興はやはり人が楽しくなくてはいけないというところもあるということと、これまでは決まりがあったが規制を緩和していくという発想も大事かと思う。そうしたときに今言われたような規制緩和ができるかどうかという部分については、我々観光としてもできるだけ後押ししたい。

市民生活部長

- 佐世保市はいろんな良いことをしているが、他の地区の方でも宣伝や情報が足りないと言われる。市民生活部では各部長たちに必ず自治協議会への情報提供をお願いしている。その中でまたご意見をいただくとかいうことも、私どもも気をつけていきたいと思う。
- 今度スポーツ関係の計画を作り直すということなので、その点も含めて今のご意見をつなげたいと思う。

2024.8.19 鹿町地区



令和6年度鹿町地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:地域振興について

市長

- 鹿町もだが、佐世保全体で人口が著しく減っている。人口減少に歯止めを少しでもかけていくというのが私の大きな目標だと考えている。地域振興の中でこの地域の観光資源を生かしていくというのは、非常に大きな観点だと思っている。
- この地域は大変すばらしい地域資源、観光資源を持っておられるので、それをどうやって生かしていくかというのが非常に重要かと思っている。
- この4月から第7次総合計画後期基本計画をスタートし、その中で「選ばれるまちSASEBO」を目指していこうとシティブランディングプロジェクトというプロジェクトを掲げた。子育て、地域資源、文化、産業の4つの柱を掲げ、それぞれに力を入れて少しでも人口減少に歯止めをかけていこうということである。そのような形で、今計画事業を進めさせていただいたところでもある。
- サンセットロードについても非常に良い道であるにもかかわらず標識1つぐらいしかないというような話であるので、もっと内外にそのことを発信する必要があるのではないかと思う。
- 九十九島を生かしていく必要があり、そのために後期基本計画の中ではオンリーワンのまちづくり事業というものを掲げ、その中で北九十九島については空き家などを利用した宿泊施設を作り上げていこうということも申し上げている。佐世保は観光都市としては宿泊観光の割合が非常に少ないため、この宿泊をどうやって増やすかが1つの大きなポイントとなる。鹿町にも民間施設で空き家を利用した良い宿泊施設がある。こういうものを広げられないかということで、この1年調査をかけていきたいと思っている。イタリアの「アルベルゴ・ディフーゾ」というやり方等を参考にしながら、この北九十九島地域でこの観光施設というものができないかということで検討を始めたい。地域の皆様方にこれから逐一相談をしながら、この事業を進めていきたいと考えている。

令和6年度鹿町地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:地域振興について

市長

- 宿泊時に地域で楽しんでいただけるような場所が必要である。海洋スポーツを楽しんでいただくというのは非常に大きな売りになると思うので、そうしたことも生かしていきたい。できるだけ事業を緩和しながら多くの皆様方に親しんでいただけるようにしたいと思う。
- 専門家から環境変化によりつつじを育てるのも難しくなっているというようなお話も聞いた。長串山公園は佐世保市を代表するような素晴らしい公園なので、充実をしていかなければならない。時間もかかるかと思うが、そうしたこともこれからしっかりと検討していきたいと思っている。
- 北九十九島の観光をこれから1つの大きな旗として掲げて活性化を努めていきたいと思っている。



2024.8.19 鹿町地区

令和6年度鹿町地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:地域振興について



2024.8.19 鹿町地区

地域参加者

- 路線バスが減っていて、高齢者から通院等に不便だという意見がある。また、佐世保の方から来られる方も、MRを利用しても温泉施設までは歩いて来ることができても、歌ヶ浦、長串山の方まではバスの接続がなく、車じゃないと来られないと言われる。免許を返納し、バスやMRで来たいができないという方がいる。観光面でもバス・MRの整備をしていただければ。
- 江迎のバスセンターがなくなって高齢者や高校生にとってバスの乗り換えや待合が不便になった。コンビニの横に待合所はあるが、営業時間が9時から5時なので役に立たず、意味がない。MRの所でバスはまわっている。そこを利用して待合所にできないか。



令和6年度鹿町地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:地域振興について

市民生活部長

- 交通に関しては、地域未来共創部として独立して専任で部長も配置されたので、今後力を入れていくと思う。以前、MRIはJRを意識していて、列車同士は連携するがバスとはうまくいっていなかった。それが今のお声だと思う。
- 観光としてのバスというところでは、考え方も同じ様で違ったりするので、そこは観光部局とも連携をしてつなげていきたい。
- そういうこともあわせて対応するが、多分バスセンターが縮小という形になったときにコンビニも作ってというふうな話もあったかと思うので、ここが今どうなったかという点も確認する。



2024.8.19 鹿町地区



令和6年度鹿町地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:地域振興について

市長

- 運転士不足の深刻さも相まって悪い状況に陥っているというのが今の地域公共交通の現状である。佐世保市内の中でも一部スタートしているコミュニティバス、或いはデマンドタクシーを活用しながら、できるだけ交通が走らない路線を補完していくようなやり方をこれから研究をしていかなければならないと思う。皆様方の少しでも利便性が上がるよう、通院・通勤・通学のような必要なことができるように、これからの足を確保するために努力をしていきたいと思っている。



2024.8.19 鹿町地区

令和6年度鹿町地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

地域参加者

- 様々整備がなされ、漁業活動が円滑にできるようになったことをありがたく思うが、漁港内外で波の動きが依然と変わっており、高波の影響を受けるようになっている。また、長串漁港の背後地では雨天時に水が溜まって資材の等の置き場に困っておられる。漁港整備や沖出し等の漁場整備について、現状の高波や暴風等について検証をしていただいて、今後の整備改善改革につなげていただければと思う。
また、危険な種類の赤潮が鹿町でも高密度で発生しており、漁業者が苦労をされている。現在は小康状態になっているが気候の変動等によりまたどういう風に発生するかわからないため、漁業者と一緒に行政もあわせてご支援いただければと思う。
- 漁港の岸壁の高さの基準を高めた方がいいのかなと感じる。
- 太郎ヶ浦地区は満潮時に水が捌けないので結構水浸しになる。線状降水帯になったときには旧太郎ヶ浦漁港の方から住宅の方に水が流れてしまう。地元の人が、上からきた川と川との境目が狭いと言うのでどうにかならないかと思う。
- 赤潮対策として、検査する道具を何か支援してもらえないかと思う。
- 現在顕微鏡が1台あるが、漁協が閉まっていると見ることができないので、そういうところを緩和できるように漁協の方も対応していきたい。



令和6年度鹿町地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

農林水産部長

- 漁港建設をするときと同様に、竣工したところから随時、再度現在の波の強さ・潮の高さ、それぞれ今を起点として過去30年にさかのぼったデータで再検証することになっている。令和7年に太郎ヶ浦の漁港の再評価を行いたいと思うので、その結果をもってどのような対策が必要かということをお漁協と市と一緒に進めていきたいと考えている。
- 赤潮については市内の養殖業者、研究機関、佐世保市で構成されているSNSの中でデータをすぐ公表できるような状態にしており、非常に利便性が高く、生産者もご協力をいただいている。幸いにも鹿町地区は被害がほとんど出でらず、青年部の皆さんのおかげで助かったところである。引き続き一緒になって被害防除を進めていきたい。
- 例えば8月のあびきの振動があるときは非常に潮高が高くなるが、今の漁港を整備する基準ではそこを見えてくれない。通常のいちばん潮が高い時の潮高で見るので、イレギュラーなところがある。なかなか汲み取ってもらえないところがある。そこは今後の検討の余地は十分あると思う。
- 漁港区域内の水量については、土砂がたまって十分な排水ができてないところは浚渫を行う工事をしているので、再度漁港の担当者に現地を見させる。
- 過去大規模な被害が生じた時に国が検査装置の補助をしたことがある。今回も多分3県合同で知事が要請しているので、その制度がこの先緊急的にできるのかどうかを確認しながら、うちの補助としても赤潮対策として考えていきたいと思う。

令和6年度鹿町地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

市長

- 漁業については、二重、三重、四重のご苦勞があられようかと思い、改めて心からお労いとお見舞いを申し上げたいと思う。コロナがあり、コロナが収まったと思ったら燃油や資材が上がって大変なところに台風が来たり、今度は赤潮が発生したりと本当に様々なご苦勞があられようかというふうに拝察をしている。
- 今お話があったことについてはそれぞれ引き続き対策を行っていきたい。特に最近の赤潮については台風と同様で、気候の変化に伴う発生が毎年のように各地で起こっていることを考えれば、漁業者の皆様方は本当に不安ではない部分があるかと思う。この防除剤の対策等については今内部の方でも検討しているので、またしっかりと発表できるように検討を重ねていきたい。
- 岸壁等の対策についても地元のご要望もしっかりと聞きながら、また計測器のことについても今部長がお話をしたとおりに国の状況を見ながら、対策をとっていきたいと思っている。
- 食料を作る漁業、農業はまさに国の基本の産業で、なくてはならない産業である。また、今後将来や世界の状況を見れば食料の囲い込みなどというものも進んでこようかと思う。そういう意味でも需給力、需給率を高めるためにも、1次産業を守っていくことは国民等しく考えていかなければならないことだと思っているので、佐世保市としてもそのことをしっかりと念頭に置きながら対策を講じて参りたいと思う。



2024.8.19 鹿町地区

令和6年度鹿町地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

地域参加者

- 歌ヶ浦小学校区は鹿町役場があったときはものすごく賑わっていたが、なくなってしまうと過疎化した。銀行、お店、ガソリンスタンドもなく、医療機関もない。昨年歌ヶ浦地区の内科と歯科が廃業し、特に高齢者が喪失感を持っている。江迎に中央病院があるが、交通の便が悪く、運転免許も返納していて困っているという声を高齢者からよく聞く。なんとか医療機関の確保をお願いしたい。
- 合併前は要望があれば各団体がそれぞれまとめて直接役場に持って行っていた。合併後地域課題を解決するための自治協議会として発足した。各専門部会の問題を共有するという点では有意義だが、地域(自治協議会)で課題を解決できなかった時の相談窓口がわからない。自治協議会を管轄する市の部署がない。
- 鹿町地区の自治協議会の事務局長はコミュニティセンター長が兼務している。コミュニティセンター、支所長が自治協議会を手助けするとハンドブックに記載してあるが、本庁の部署名は入っていない。こういう状態で良いのか。
- コミュニティセンター長は大変多忙だと思う。その上で自治協議会の事務局長を兼務している。コミュニティセンター長は支所長のような市職員でなく、嘱託職員かと思う。コミュニティセンターを中心に自治協議会と連携して地域を活性化して課題を解決していこうという時に、センター長が嘱託職員でいいのかと不思議に思っている。
- 「淵に臨みて魚を羨むは退いて網を結ぶに如かず」という中国の大昔の教えがあるが、これを行政側、自治協議会側の双方がそれぞれ念頭において、課題解決したいと思う。



令和6年度鹿町地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

地域参加者

- 鹿町の人口が少なくなっている。市営住宅が入居停止になった場合にベニヤがどんどん貼られていって、あまりにも見づらい。
- 広報させぼなど広報誌が配布される際の配布物が多い。なるべく簡素化できないものか。



2024.8.19 鹿町地区



令和6年度鹿町地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

市民生活部長

- 保健福祉部の方でも地域によって病院の状態っていうのは把握して検討していると聞いている。保健福祉部長の方にもまたお伝えする。
- 市民生活部、特に課でいうとコミュニティ・協働推進課が自治協議会の担当部署となっている。
- 皆さんが自分たちの力でやってもできない、行政にやっぱり物を申すべきだという時は、どうぞ要望を口頭でも文書でもいいので、まず市民生活部にご相談いただきたい。それを私たちが受け付け、課題が市民生活部案件でなく、いろんな部局に跨るといようなところは私どもが判断後お繋ぎをし、市長にもご報告をして、回答も市長が了解したものを回答するといった流れを。今まであまりこうきちっとお話ししたことがなかったかもしれないが、今度の会長会できちっとお話をしようと思っている。それでもってまた皆さんにも通知を差し上げるという事務の流れでいきたいと思っている。
- ベニヤのところは市営住宅の空き家のことだと思う。そこは住宅課に申し伝えて、そういうご意見が出たということで検討してもらう。
- 広報誌配布の際の配布物は、コミュニティ・協働推進課と関係課で班ごとにまとめて配るようにし、町内会に負担をなるべくかけないようにするところまではいっている。皆さんに配布する必要があるかの承諾をもらうように、部長までお願いはしている。担当者レベルで安易に配る判断をして欲しくないと全庁的にアナウンスをしているところなので、今一度また広報をしたいと思っている。



令和6年度鹿町地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

市長

- 鹿町町が医療の空白地域になってしまったという非常に深刻な状況が今生まれている。長崎県、もとより大石知事も県北地域の医療の厳しさを十分に認識をしておられるので、これからも県と市と連携をしながら医療体制の充実に努めていきたいと思っている。
- 医療の診療補助の新規開設について承継の支援を含めて補助金の制度を作ったところである。新しい病院については、特に本市にとって逼迫をしている小児科・産科・産婦人科の二科に限ってはあがあるが、それぞれ補助事業をスタートしたところである。
- 移動診療車の導入についても運営の事業をどうするのか、難しい点はあるがしっかりと内部で検討していきたいと思っている。
- 佐世保市においてもオンライン診療を1日も早く導入ができるように今保健福祉部の方で検討をしているようであるので、こうしたものも早く具現化ができるように努力をしていきたいと思う。
- 広報誌についてはできるだけ簡素化して経費が節減できるように、将来的にデジタル版が普及されていくと思うが、当面はやっぱり紙媒体も必要かなと思う。同じような内容というものもできるだけまとめることができたりすればいいと思うので、そのあたりは適宜適切にやっていきたいと思う。



2024.8.19 鹿町地区

令和6年度鹿町地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

市長

- この車座集会というのはただ単に要望を聞く会ではなく、今フリートークでお話いただいたとおりに、テーマに限らずいろいろなお話をさせていただきたいというのが趣旨でもある。ただ、これまで市政懇談会の中では地域の課題、要望というものが多かったと思うので、それはそれとして別途受け付けていこうと。これは、2年に一度市政懇談会が回ってくるときだけではなく毎年或いは緊急を要する部分もあり、そうした課題はいくつもあると思うので、別途受けて1つ1つ解決をしていこうと。このようなスタンスでいるので、その窓口については先ほど市民生活部長が話をしたとおりに、まずはこの市民生活部の方で受け付ける。支所又は市民生活部本体の方で受け付けて、それぞれの課題については各部局に振り分け、回答をする場合には市民生活部でまとめてお答えをするというような形にしたいと思うので、地域の課題についても引き続きどしどしお寄せいただきたいと思います。

なお、市政懇談会の時に、回ってきた時になかなか要望がないのに、ちょっと語弊があるが無理やり要望を作ったというような過去の経験もある。そうならないように、必要な要望については逐次出していただいて、それにお答えをするような仕組みをこれから作っていきたいと思っているので、ぜひご理解をよろしくお願いを申し上げます。

